

印心―観音法門

Supreme Master Ching Haiは真理を知りたいと心から望む誠実な人々に、印心を通して観音法門を伝授しています。中国語の「観音」とは音の振動を観るという意味です。この法門には内在の「光」と「音」の双方を観ることが含まれています。こうした内なる体験は、古代より世界中のさまざまな宗教的文献や霊的な文献に何度となく繰り返し述べられてきました。

聖書には「初めに言（ことば）があった。言（ことば）は神と共にあった。言（ことば）は神であった」（ヨハネ一・一）と記されています。この言（ことば）が内在の音であり、ロゴス、シャブド、タオ、音流、ナム、あるいは天上の音楽などとも呼ばれています。Supreme Master Ching Haiは「それはすべての命あるものの中で振動し、宇宙全体を支えているものです。この内なる旋律はあらゆる傷を癒し、あらゆる望みを満たし、あらゆる世俗の渇きを癒すことができます。それは非常に全能であり、愛そのものです。なぜなら、私たちはこの音から創られているので、交流すると心に平安と満足感もたらされるのです。この音を聞くと、私たち個人のすべてが変わり、人生観が大きく変わります」と述べています。

内在の光と神の光とは、「悟り」という言葉で呼ばれる同じ光を指しています。その光の強さは、かすかな光から何百万個の太陽の輝きにも及ぶものです。内在の光と音を通し

て、私たちは神を認識するのです。

観音法門の印心は秘密の儀式とか、新しい宗教に入るための式典というようなものではありません。印心の間、内在の光と内在の音のメデイテーション（座禅）について特別な注意事項が指示されます。そして、Supreme Master Ching Hai が霊的な伝達をします。この最初の神聖な体験は沈黙の内に行われます。あなたのためにこのドアを開けるのに、Supreme Master Ching Hai がその場に居る必要はありません。この霊的な伝達は法門にとつて欠くことのできない重要な部分なのです。マスターの恩恵なくして、方法それ自体何ら利益をもたらすものではありません。

印心の最中に即座に内在の音を聞くことができたり、内在の光を見ることができたりするため、「即刻開悟」と呼ばれます。

Supreme Master Ching Hai は、さまざま背景やどんな宗教を持つ人の印心も受け入れます。現在信じている宗教を変える必要もなければ、信仰を変える必要もありません。組織に入ることを要請されることも、現在の生活にそぐわない方法で活動するよう求められることもありません。しかしながら、菜食主義になることが求められます。生涯を通して菜食を貫くことが、印心を受けるために必要な条件なのです。

印心は無料で提供されます。

印心を受けたあとで課せられることは、毎日観音法門のメデイテーション（座禪）をすることと五戒を守ることだけです。戒律とは、あなた自身と他のあらゆる生き物も傷つけないようにするための指標となるものです。こうした実行が最初の悟りの体験をより深く、より強くしていくことでしよう。そして、結局は、あなた自身が最も高い悟りのレベルに、また仏陀となることに到るのです。日々の修行を怠ると、悟ったことをまったく忘れてしまい、普通の意識レベルに戻ってしまいます。

Supreme Master Ching Haiの目的は、私たちに自力で成し遂げることを教えることです。ですから、私たち誰もが自分でできる法門を教えているのです。何の小道具も、装置もありません。Supreme Master Ching Haiは追隨者や崇拜者、弟子を求めているわけではありません。会費制の組織でもありません。お金や贈り物を受け取らず、礼拝されることも望みません。そうしたことをする必要はまったくありません。

Supreme Master Ching Haiはあなたの日々の生活においての誠実さと、聖人へと向上したいというメデイテーション（座禪）の修行の誠実さだけを受け入れるのです。